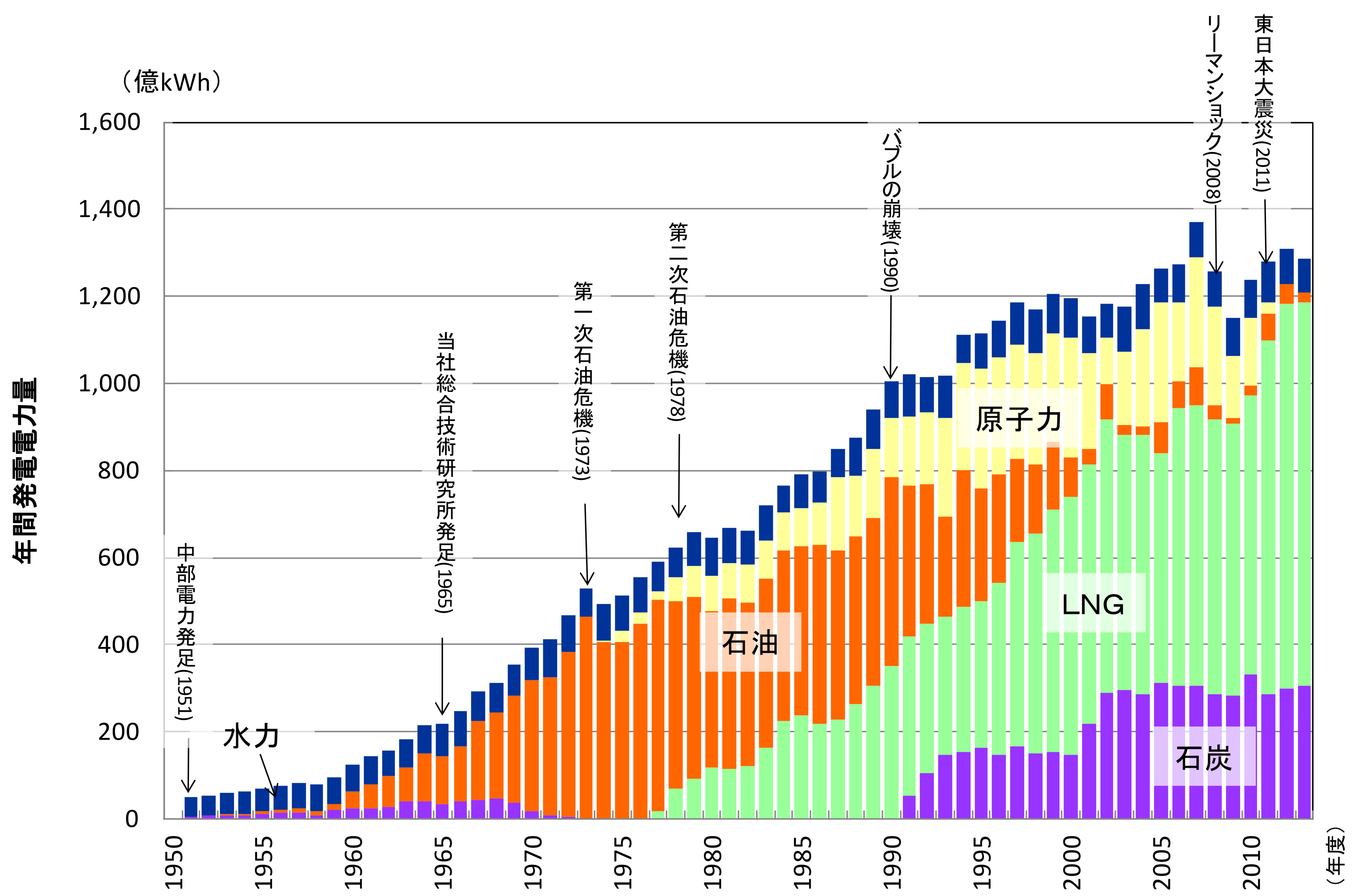


燃料別発電電力量の推移

電力需要は経済成長に合わせて増加します。戦後の高度成長に伴い、最初は石油火力の開発を進めました。石油危機の後には、脱石油を追求し、LNG火力、石炭火力の開発を進めた結果、石油の使用量は大幅に削減されました。



燃料別発電電力量の推移

燃料種別による火力発電の特徴

項目	石油火力	LNG火力		石炭火力
		コンベンショナル	コンバインドサイクル	
燃料コスト	高 (変動大)	やや高 (変動大)	中 (変動大)	低 (安定的)
熱効率	中	中	高	中
CO ₂ 排出量※	高(0.74)	中(0.61)	中(0.52)	高(0.98)
運用方法	ピーク (需要逼迫時に発電)	ミドル (需要に合わせて発電)	ベース (昼間は最大出力)	ベース (常に最大の出力)
稼働率	低	中	高	高

※燃焼・設備・運用の合計(kg-CO₂/kWh) 資源エネルギー庁(2009)